



証明書 Astra Automation

NetApp
September 02, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/astra-automation-2310/reference/certificate_endpoints.html on September 02, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

証明書	1
Astra API（ACC）証明書エンドポイント	1
新しい証明書を作成する	1
パラメータ	1
要求の本文	1
応答	4
応答	9
応答	10
応答	10
応答	11
エラー	11
用語の意味	12
すべての証明書を一覧表示	13
パラメータ	13
応答	15
応答	16
応答	16
応答	17
応答	17
エラー	18
用語の意味	19
証明書を取得する	24
パラメータ	24
応答	24
応答	29
応答	29
応答	30
応答	31
応答	31
エラー	32
用語の意味	32
証明書を変更する	33
パラメータ	34
要求の本文	34
応答	38
応答	38
応答	39
応答	40
応答	40

応答	41
エラー	41
用語の意味	42
証明書を削除する	43
パラメータ	43
応答	43
応答	43
エラー	44

証明書

Astra API（ACC）証明書エンドポイント

証明書アプリAPIは、送信接続の確立に使用される管理者信頼証明書を表します。

新しい証明書を作成する

POST /accounts/{account_id}/core/v1/certificates

作成する証明書APIリソースの必要な値を示します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path（パス）	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}

要求の本文

作成する証明書APIリソースの必要な値を示します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-certificate"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"

Name	を入力します	必須	説明
certUse	string	False	証明書の使用状況を示すJSON文字列。指定しない場合は、「rootCA」がデフォルトとなります。定義された値は次のとおりです： • 「rootCA」 - この証明書は、その認証局（CA）によって署名された証明書を信頼するために使用される認証局（CA）証明書です。 • 「intermediateCA」 - この証明書は、ルートCAによって発行された中間CA証明書です。
cert	string	True	Base64エンコードされたPKCS-11形式の証明書（PEM）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • base64 Encoded Data Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
isSelfSigned	string	False	証明書が自己署名されているかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定されない場合、値はデフォルトで「false」になります。更新時： • 値が指定されている場合は、その値が使用されます。 • 値が指定されておらず、かつ更新に「cert」フィールドが含まれている場合、値は「false」に設定されます。 • 値が指定されておらず、「cert」フィールドが更新に含まれていない場合は、既存の値が保持されます。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - 証明書は自己署名されています。 • 「false」 - 証明書は自己署名されていません。
trustStateDesired	string	False	証明書が信頼されているかどうかを示す値を含むJSON文字列。作成時に指定しない場合、デフォルト値は"trusted"になります。定義された値は次のとおりです： • 「untrusted」 - 証明書が信頼されていません。 • 「trusted」 - 証明書は信頼できるものとしてマークされています。

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-certificate",
  "version": "1.1",
  "certUse": "rootCA",
  "cert":
    "LS0tLS1CRUdJTtIBDRVJUSUZJQ0FURS0tLS0tCk1JSUZyVENDQTVXZ0F3MVJHbnFGbUJSSWRyV1kwPQotLS0tLUVORCBDRVJUSUZJQ0FURS0tLS0t"
}
```

応答

Status: 201, Returns the newly created certificate resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： "application/astra-certificate"

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
certUse	string	True	証明書の使用状況を示すJSON文字列。指定しない場合は、「rootCA」がデフォルトとなります。定義された値は次のとおりです： • 「rootCA」 - この証明書は、その認証局（CA）によって署名された証明書を信頼するために使用される認証局（CA）証明書です。 • 「intermediateCA」 - この証明書は、ルートCAによって発行された中間CA証明書です。
cert	string	True	Base64エンコードされたPKCS-11形式の証明書（PEM）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • base64 Encoded Data Schemaに準拠
cn	string	True	証明書から抽出された共通名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：511

Name	を入力します	必須	説明
expiryTimestamp	string	True	証明書の有効期限を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
isSelfSigned	string	True	証明書が自己署名されているかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定されない場合、値はデフォルトで「false」になります。更新時： • 値が指定されている場合は、その値が使用されます。 • 値が指定されておらず、かつ更新に「cert」フィールドが含まれている場合、値は「false」に設定されます。 • 値が指定されておらず、「cert」フィールドが更新に含まれていない場合は、既存の値が保持されます。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - 証明書は自己署名されています。 • 「false」 - 証明書は自己署名されていません。

Name	を入力します	必須	説明
trustState	string	True	証明書が信頼されているかどうかを示す、列挙された値のセットのうちの1つを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「untrusted」 - 証明書が信頼されていません。 「trusted」 - 証明書は信頼できるものとしてマークされています。 「期限切れ」 - 証明書の有効期限が切れているため、信頼されているとも信頼されていないとも判断できません。
trustStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、特定の定義済み状態からの許可された状態遷移のセットを表します。各JSONオブジェクトには「from」と「to」というフィールドが含まれており、「from」の値は状態の名前、「to」の値は許可された宛先状態の配列です。
trustStateDesired	string	False	証明書が信頼されているかどうかを示す値を含むJSON文字列。作成時に指定しない場合、デフォルト値は"trusted"になります。定義された値は次のとおりです： 「untrusted」 - 証明書が信頼されていません。 「trusted」 - 証明書は信頼できるものとしてマークされています。

Name	を入力します	必須	説明
trustStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	証明書の信頼状態に関する詳細情報を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。 • 最小アイテム数：0
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-certificate",
  "version": "1.1",
  "id": "a26cbcd4-2183-58ce-aa19-e37ca8b0531a",
  "certUse": "rootCA",
  "cert":
    "LS0tLS1CRUdJTtiBDRVJUSUZJQ0FURS0tLS0tCk1JSUZyVENDQTVXZ0F3MVJHbnFGbUJSSWRyV1kwPQotLS0tLUVORCBDRVJUSUZJQ0FURS0tLS0t",
  "cn": "vcenter.example.com",
  "isSelfSigned": "false",
  "expiryTimestamp": "2022-03-23T16:48:38.5233461Z",
  "trustState": "trusted",
  "trustStateTransitions": [
    {
      "from": "untrusted",
      "to": [
        "trusted"
      ]
    }
  ]
}
```

```

    ]
  },
  {
    "from": "trusted",
    "to": [
      "untrusted"
    ]
  }
],
"trustStateDesired": "trusted",
"trustStateDetails": [],
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/7",
  "title": "Invalid JSON payload",
  "detail": "The request body is not valid JSON.",
  "status": "400"
}

```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

応答

Status: 500, Internal server error

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/34",
  "title": "Internal server error",
  "detail": "The server was unable to process this request.",
  "status": "500"
}
```

応答

Status: 503, Service unavailable

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/41",
  "title": "Service not ready",
  "detail": "Currently, the service can't respond to this request.",
  "status": "503"
}
```

エラー

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列[" type_astra_label "]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

すべての証明書を一覧表示

GET /accounts/{account_id}/core/v1/certificates

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
続行		query	False	リストの表示を再開するトークンを示します。 URLの例 : "continue=<continue token="" from="" collection="" metadata="">"</continue> OpenAPIの例 : "<continue token="" from="" collection="" metadata="">"</continue></continue>

Name	を入力します	入力	必須	説明
フィルタ	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、リソースを返すためにどのフィールドを一致させる必要があるかを示します。 サポートされているオペレータは次のとおりです： • eq - 等号 • lt/gt - より小さい/より大きい • lte/gte - 以下/以上 URLの例 ： "filter=field%20eq%20%27value%27" OpenAPI の例 ： 「field eq 'value'」 • 例 ： certUse%20eq%20'rootCA'
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。 URLの例 ： "include=id"、 "include=id,name" OpenAPI の例： "id" • 例： id、 cn、 isSelfSigned
制限（ Limit ）	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。 URLの例： "limit=2" OpenAPI の例： "2"

Name	を入力します	入力	必須	説明
OrderBy	string	query	False	コレクションを一覧表示する際の、リソースの並び順を示します。 URLの例 : "orderBy=name" 、"orderBy=name%20desc" OpenAPI の例 : "name desc"

応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか : "certificate_1.1_get_response_body"、配列[]]	True	
メタデータ	"type_astra_metadata_list"	True	

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-certificates",
  "version": "1.1",
  "items": [
    [
      "f97f3441-075e-4f9b-9d1e-47f9f62a3fc4",
      "prod.region-1.example.com",
      "true"
    ],
    [
      "5e365b4d-034f-4f13-95ef-d3a7fbc0df3d",
      "prod.region-2.example.com",
      "false"
    ],
    [
      "11ceb350-1999-4b79-80a6-46a980a27856",
```

```

        "prod.example.com",
        "false"
    ]
  ],
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 503, Service unavailable

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/41",
  "title": "Service not ready",
  "detail": "Currently, the service can't respond to this request.",
  "status": "503"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/164",
  "title": "Requested resource in unexpected state",
  "detail": "The requested resource can't be returned because it isn't
in the expected state. Wait for the conflict to be resolved and retry
the request.",
  "status": "409"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

certificate_1.1_get_response_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-certificate"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
certUse	string	True	証明書の使用状況を示すJSON文字列。指定しない場合は、「rootCA」がデフォルトとなります。定義された値は次のとおりです： • 「rootCA」 - この証明書は、その認証局（CA）によって署名された証明書を信頼するために使用される認証局（CA）証明書です。 • 「intermediateCA」 - この証明書は、ルートCAによって発行された中間CA証明書です。
cert	string	True	Base64エンコードされたPKCS-11形式の証明書（PEM）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • base64 Encoded Data Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
cn	string	True	証明書から抽出された共通名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：511
expiryTimestamp	string	True	証明書の有効期限を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
isSelfSigned	string	True	証明書が自己署名されているかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定されない場合、値はデフォルトで「false」になります。更新時： • 値が指定されている場合は、その値が使用されます。 • 値が指定されておらず、かつ更新に「cert」フィールドが含まれている場合、値は「false」に設定されます。 • 値が指定されておらず、「cert」フィールドが更新に含まれていない場合は、既存の値が保持されます。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - 証明書は自己署名されています。 • 「false」 - 証明書は自己署名されていません。

Name	を入力します	必須	説明
trustState	string	True	証明書が信頼されているかどうかを示す、列挙された値のセットのうちの1つを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「untrusted」 - 証明書が信頼されていません。 「trusted」 - 証明書は信頼できるものとしてマークされています。 「期限切れ」 - 証明書の有効期限が切れているため、信頼されているとも信頼されていないとも判断できません。
trustStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、特定の定義済み状態からの許可された状態遷移のセットを表します。各JSONオブジェクトには「from」と「to」というフィールドが含まれており、「from」の値は状態の名前、「to」の値は許可された宛先状態の配列です。
trustStateDesired	string	False	証明書が信頼されているかどうかを示す値を含むJSON文字列。作成時に指定しない場合、デフォルト値は"trusted"になります。定義された値は次のとおりです： 「untrusted」 - 証明書が信頼されていません。 「trusted」 - 証明書は信頼できるものとしてマークされています。

Name	を入力します	必須	説明
trustStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	証明書の信頼状態に関する詳細情報を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。 • 最小アイテム数：0
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

type_astra_metadata_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前

Name	を入力します	必須	説明
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

証明書を取得する

GET /accounts/{account_id}/core/v1/certificates/{certificate_id}

JSONレスポンスボディに格納されたCertificate APIリソースを返します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
certificate_id	string	path (パス)	True	一覧表示する証明書コレクションのID

応答

Status: 200, Returns the stored Certificate API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： "application/astra-certificate"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： "1.0" "1.1"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
certUse	string	True	証明書の使用状況を示すJSON文字列。指定しない場合は、「rootCA」がデフォルトとなります。定義された値は次のとおりです： 「rootCA」 - この証明書は、その認証局（CA）によって署名された証明書を信頼するために使用される認証局（CA）証明書です。 「intermediateCA」 - この証明書は、ルートCAによって発行された中間CA証明書です。
cert	string	True	Base64エンコードされたPKCS-11形式の証明書（PEM）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： base64 Encoded Data Schemaに準拠
cn	string	True	証明書から抽出された共通名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：511
expiryTimestamp	string	True	証明書の有効期限を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
isSelfSigned	string	True	証明書が自己署名されているかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定されない場合、値はデフォルトで「false」になります。更新時： • 値が指定されている場合は、その値が使用されます。 • 値が指定されておらず、かつ更新に「cert」フィールドが含まれている場合、値は「false」に設定されます。 • 値が指定されておらず、「cert」フィールドが更新に含まれていない場合は、既存の値が保持されます。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - 証明書は自己署名されています。 • 「false」 - 証明書は自己署名されていません。

Name	を入力します	必須	説明
trustState	string	True	証明書が信頼されているかどうかを示す、列挙された値のセットのうちの1つを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「untrusted」 - 証明書が信頼されていません。 「trusted」 - 証明書は信頼できるものとしてマークされています。 「期限切れ」 - 証明書の有効期限が切れているため、信頼されているとも信頼されていないとも判断できません。
trustStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、特定の定義済み状態からの許可された状態遷移のセットを表します。各JSONオブジェクトには「from」と「to」というフィールドが含まれており、「from」の値は状態の名前、「to」の値は許可された宛先状態の配列です。
trustStateDesired	string	False	証明書が信頼されているかどうかを示す値を含むJSON文字列。作成時に指定しない場合、デフォルト値は"trusted"になります。定義された値は次のとおりです： 「untrusted」 - 証明書が信頼されていません。 「trusted」 - 証明書は信頼できるものとしてマークされています。

Name	を入力します	必須	説明
trustStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	証明書の信頼状態に関する詳細情報を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。 • 最小アイテム数：0
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-certificate",
  "version": "1.1",
  "id": "a26cbcd4-2183-58ce-aa19-e37ca8b0531a",
  "certUse": "rootCA",
  "cert":
    "LS0tLS1CRUdJTtiBDRVJUSUZJQ0FURS0tLS0tCk1JSUZyVENDQTVXZ0F3MVJHbnFGbUJSSWRyV1kwPQotLS0tLUVORCBDRVJUSUZJQ0FURS0tLS0t",
  "cn": "vcenter.example.com",
  "expiryTimestamp": "2022-03-23T16:48:38.5233461Z",
  "isSelfSigned": "true",
  "trustState": "untrusted",
  "trustStateTransitions": [
    {
      "from": "untrusted",
      "to": [
        "trusted"
      ]
    }
  ]
}
```

```

    ]
  },
  {
    "from": "trusted",
    "to": [
      "untrusted"
    ]
  }
],
"trustStateDetails": [],
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

応答

Status: 503, Service unavailable

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/41",
  "title": "Service not ready",
  "detail": "Currently, the service can't respond to this request.",
  "status": "503"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/164",
  "title": "Requested resource in unexpected state",
  "detail": "The requested resource can't be returned because it isn't
in the expected state. Wait for the conflict to be resolved and retry
the request.",
  "status": "409"
}
```

```
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

証明書を変更する

PUT /accounts/{account_id}/core/v1/certificates/{certificate_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えます。

副作用

- 更新された CA 証明書がトラストストアで更新されます。
- 既存の信頼済みCA証明書が信頼できなくなった場合、信頼ストアから削除されます。
- 証明書本体が更新された場合（「cert」フィールド）、新しい証明書の状態を示すために「isSelfSigned」インジケータを含める必要があります。この場合、「isSelfSigned」インジケータが含まれていない場合、値は「false」に設定されます。
- 更新によって証明書本体（「cert」フィールド）が変更されない場合、「isSelfSigned」インジケータはオプションであり、指定しない場合は既存の値が保持されます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
certificate_id	string	path (パス)	True	一覧表示する証明書コレクションのID

要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えます。

副作用

- 更新された CA 証明書がトラストストアで更新されます。
- 既存の信頼済みCA証明書が信頼できなくなった場合、信頼ストアから削除されます。
- 証明書本体が更新された場合（「cert」フィールド）、新しい証明書の状態を示すために「isSelfSigned」インジケータを含める必要があります。この場合、「isSelfSigned」インジケータが含まれていない場合、値は「false」に設定されます。
- 更新によって証明書本体（「cert」フィールド）が変更されない場合、「isSelfSigned」インジケータはオプションであり、指定しない場合は既存の値が保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-certificate"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"
ID	string	False	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
certUse	string	False	証明書の使用状況を示すJSON文字列。指定しない場合は、「rootCA」がデフォルトとなります。定義された値は次のとおりです： 「rootCA」 - この証明書は、その認証局（CA）によって署名された証明書を信頼するために使用される認証局（CA）証明書です。 「intermediateCA」 - この証明書は、ルートCAによって発行された中間CA証明書です。
cert	string	False	Base64エンコードされたPKCS-11形式の証明書（PEM）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： base64 Encoded Data Schemaに準拠
cn	string	False	証明書から抽出された共通名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：511
expiryTimestamp	string	False	証明書の有効期限を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
isSelfSigned	string	False	証明書が自己署名されているかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定されない場合、値はデフォルトで「false」になります。更新時： • 値が指定されている場合は、その値が使用されます。 • 値が指定されておらず、かつ更新に「cert」フィールドが含まれている場合、値は「false」に設定されます。 • 値が指定されておらず、「cert」フィールドが更新に含まれていない場合は、既存の値が保持されます。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - 証明書は自己署名されています。 • 「false」 - 証明書は自己署名されていません。

Name	を入力します	必須	説明
trustState	string	False	証明書が信頼されているかどうかを示す、列挙された値のセットのうちの1つを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「untrusted」 - 証明書が信頼されていません。 「trusted」 - 証明書は信頼できるものとしてマークされています。 「期限切れ」 - 証明書の有効期限が切れているため、信頼されているとも信頼されていないとも判断できません。
trustStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、特定の定義済み状態からの許可された状態遷移のセットを表します。各JSONオブジェクトには「from」と「to」というフィールドが含まれており、「from」の値は状態の名前、「to」の値は許可された宛先状態の配列です。
trustStateDesired	string	False	証明書が信頼されているかどうかを示す値を含むJSON文字列。作成時に指定しない場合、デフォルト値は"trusted"になります。定義された値は次のとおりです： 「untrusted」 - 証明書が信頼されていません。 「trusted」 - 証明書は信頼できるものとしてマークされています。

Name	を入力します	必須	説明
trustStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	証明書の信頼状態に関する詳細情報を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。 最小アイテム数：0
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-certificate",
  "version": "1.1",
  "trustStateDesired": "trusted"
}
```

応答

Status: 204, Indicates if the certificate resource was updated.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディ フィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
}
```

```
"status": "403"
}
```

応答

Status: 503, Service unavailable

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/41",
  "title": "Service not ready",
  "detail": "Currently, the service can't respond to this request.",
  "status": "503"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
}
```

```
"detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",  
"status": "404"  
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

証明書を削除する

DELETE /accounts/{account_id}/core/v1/certificates/{certificate_id}

指定された証明書 API リソースを削除します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
certificate_id	string	path (パス)	True	一覧表示する証明書コレクションのID

応答

Status: 204, Indicates if the certificate resource was deleted.

応答

Status: 503, Service unavailable

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/41",
  "title": "Service not ready",
  "detail": "Currently, the service can't respond to this request.",
  "status": "503"
}
```

エラー

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。